



2019年3月期

決算説明資料

2019年5月28日

株式会社KSK

CONTENTS

1 KSKグループ概要

2 業績の概要

3 中期経営計画「TRUST50」

4 業績予想

1 KSKグループ概要

株式会社KSK

設立	1974年5月23日
資本金	14億4,846万円
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ① システムコア事業 ② ITソリューション事業 ③ ネットワークサービス事業
従業員数	1,955名 (連結 2019年3月末現在)
本社	東京都稲城市百村1625-2
事業所	東京本社, 日本橋, 新宿, 川崎, さいたま, 浜松, 刈谷, 関西, 熊本



KSKグループ会社

株式会社KSKテクノサポート	(資本金50百万円)	東京都稲城市	ネットワークサービス事業
株式会社KSKデータ	(資本金50百万円)	埼玉県さいたま市	ITソリューション事業等
株式会社KSK九州	(資本金20百万円)	熊本県熊本市	ITソリューション事業

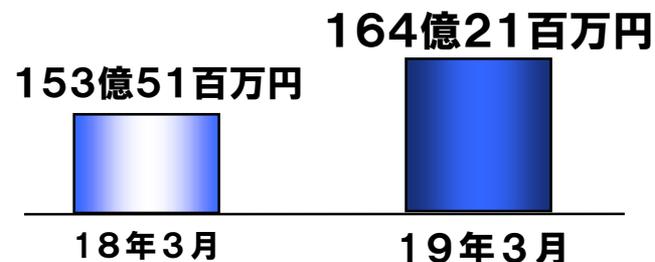
2 業績の概要

前期比で増収増益

2019年3月期 連結

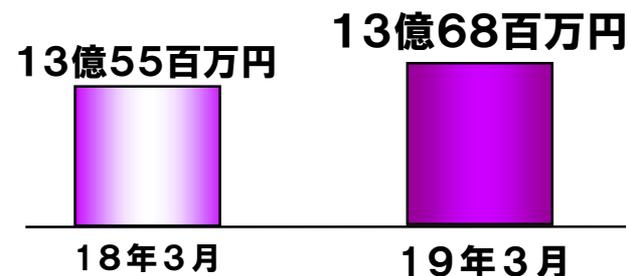
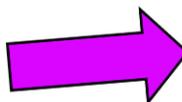
売上高

7.0% : 増



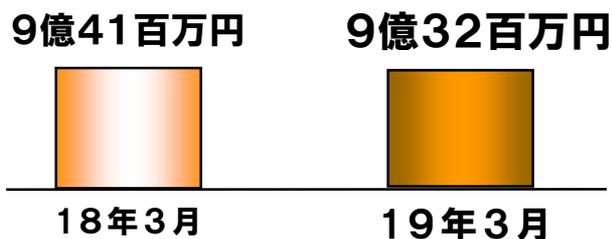
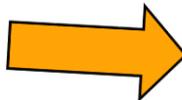
営業利益

1.0% : 増



当期純利益

1.0% : 減



2-02

過去の業績推移(売上・売上伸び率)

(単位:百万円)

(単位:%)



2-13

過去の業績推移(営業利益・営業利益率)

(単位:百万円)

(単位:%)

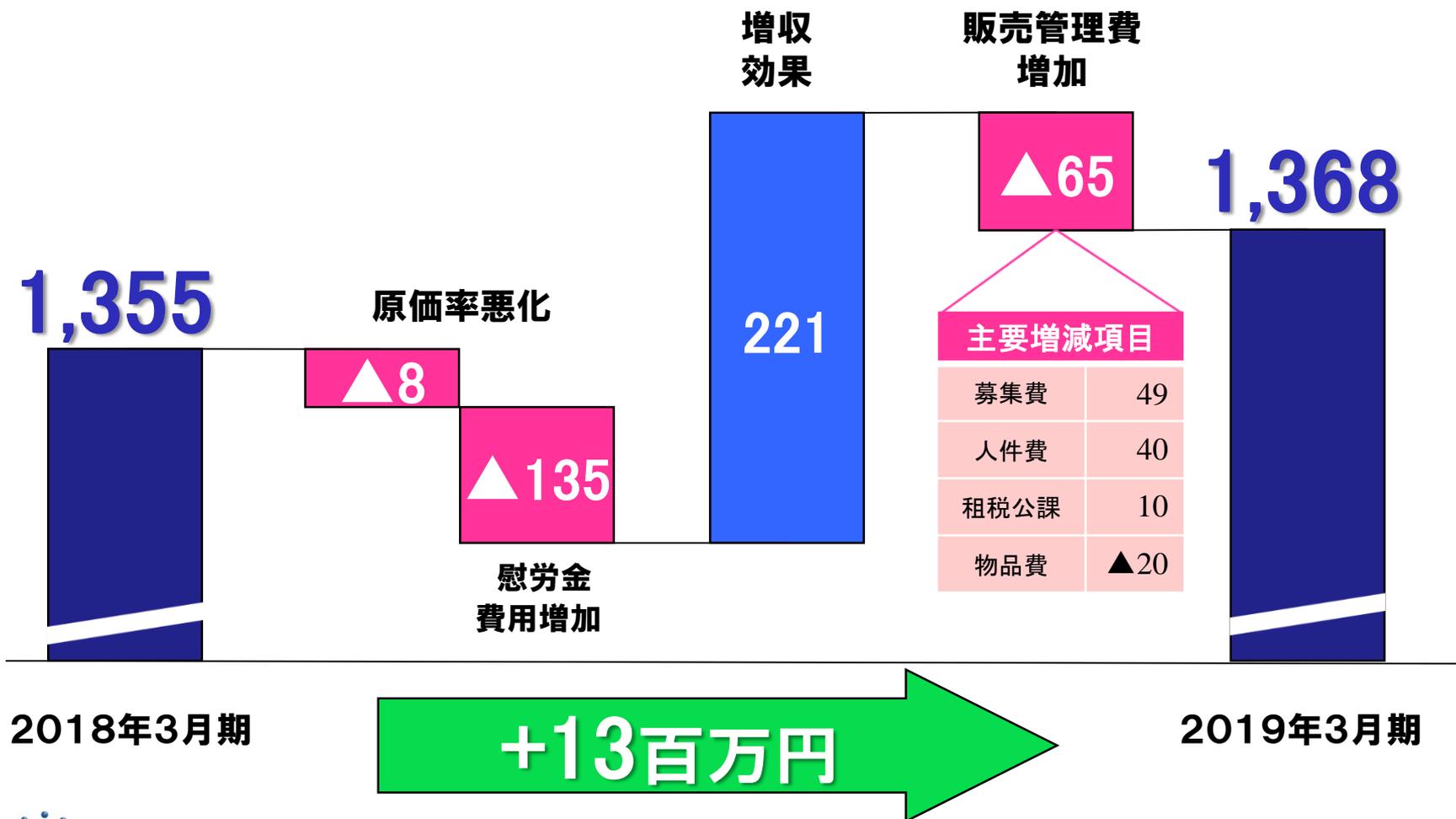
営業利益

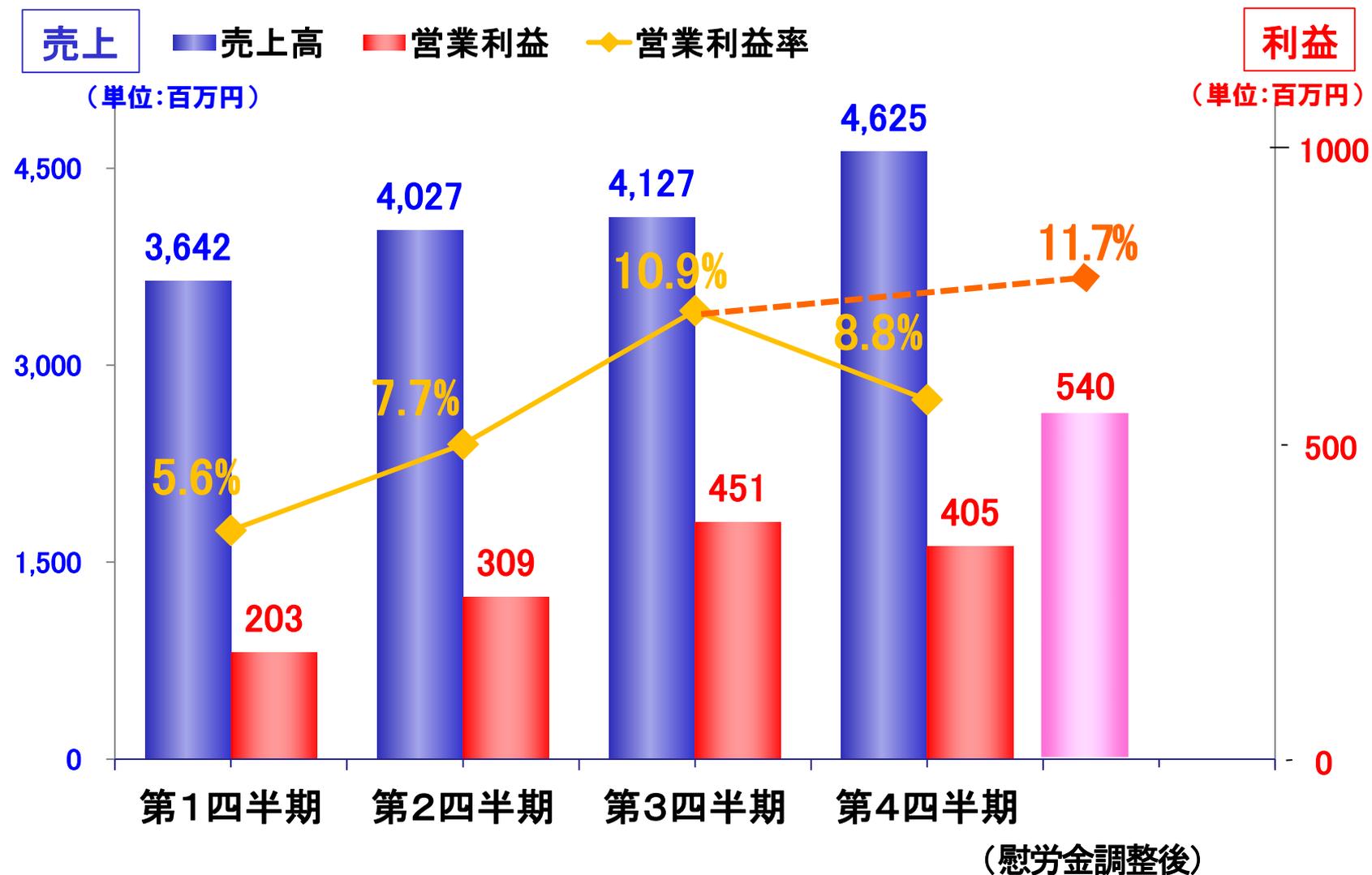
■ 営業利益 ■ 営業利益率

営業利益率



(単位:百万円)

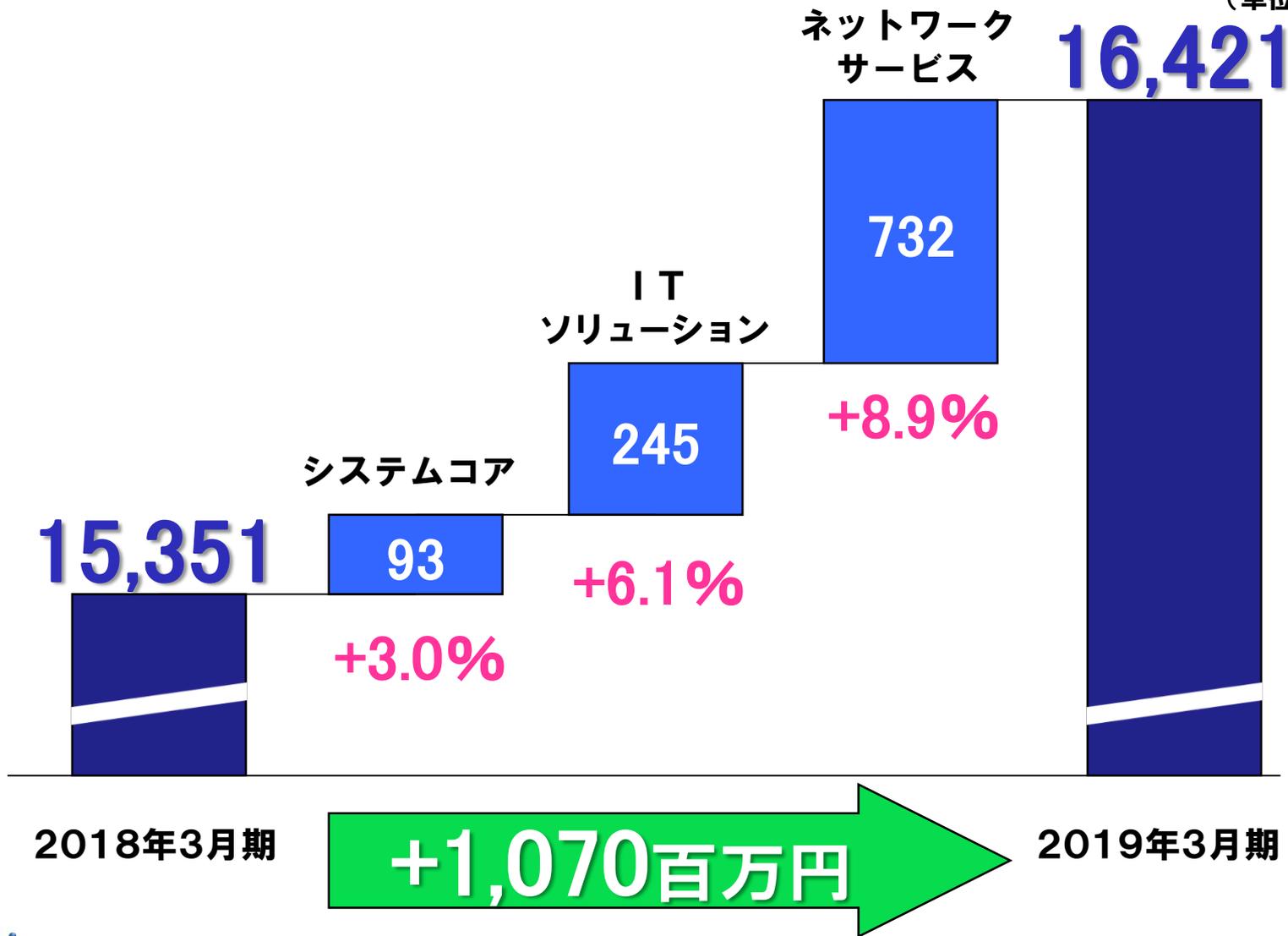




2-06

セグメント別売上増減(前期比)

(単位:百万円)

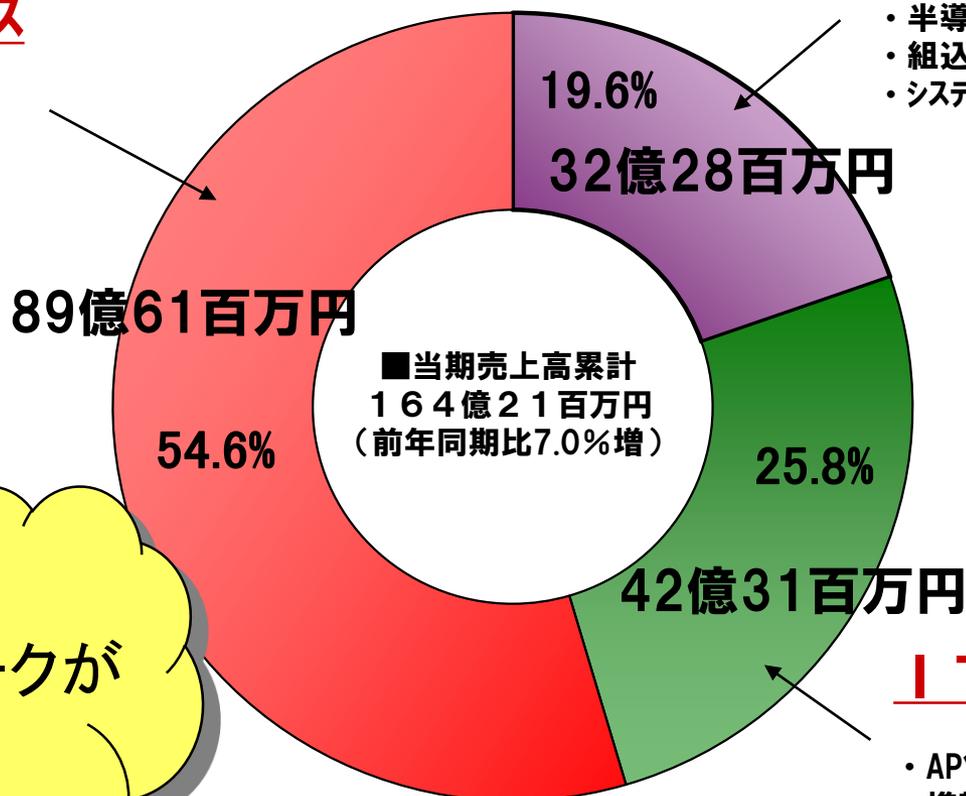


ネットワークサービス

- ・ネットワークシステム構築
- ・ネットワーク保守
- ・サポートセンター

システムコア

- ・半導体設計、システムLSI
- ・組込ソフトウェア開発
- ・システム設計、装置設計



ネットワークが
5割超

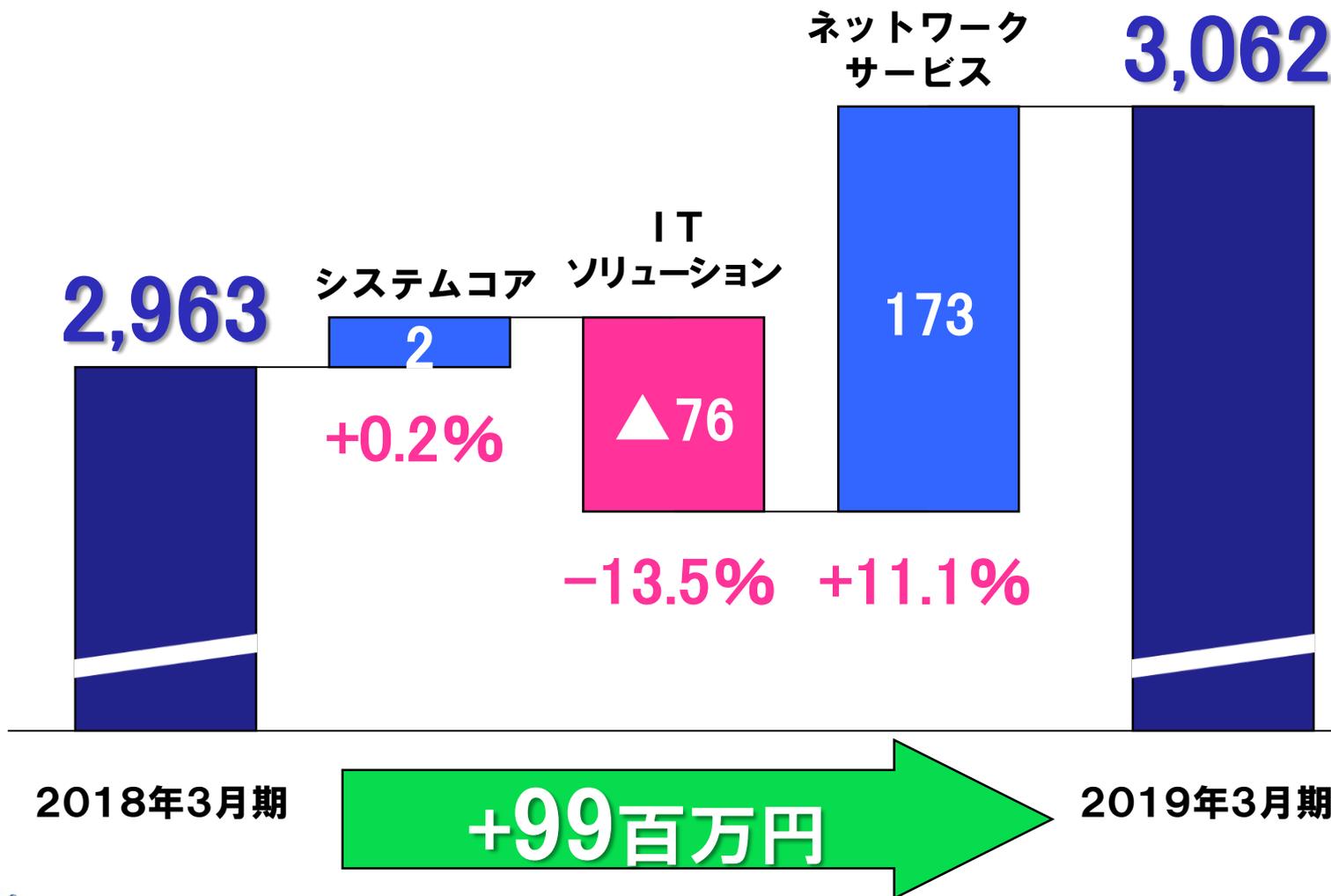
ITソリューション

- ・APソフト開発・保守
- ・携帯用Web関連ツールソフト
- ・自社PKGソフト
- ・健康保険組合、自治体への派遣
- ・データエントリー

2-08

セグメント別利益増減(前期比)

(単位:百万円)

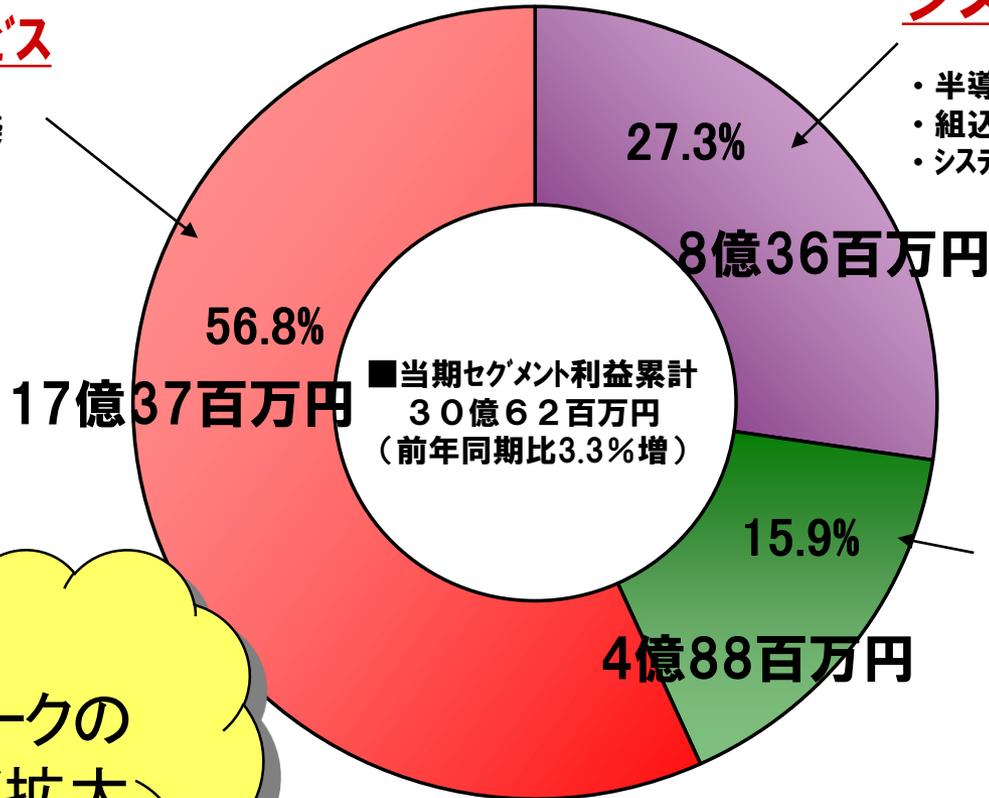


ネットワークサービス

- ・ネットワークシステム構築
- ・ネットワーク保守
- ・サポートセンター

システムコア

- ・半導体設計、システムLSI
- ・組み込みソフトウェア開発
- ・システム設計、装置設計

ITソリューション

- ・APソフト開発・保守
- ・携帯用Web関連ツールソフト
- ・自社PKGソフト
- ・健康保険組合、自治体への派遣
- ・データエンリ

ネットワークの
シェアが拡大

2-10

セグメント別売上／利益一覧表

(単位:百万円)

	売上高		利益			
	売上高	前年同期 増減比	セグメント利益	前年同期 増減比	売上高比 利益率	前年同期 増減
システムコア	3,228	+3.0%	836	+0.2%	25.9%	-0.7P
IT ソリューション	4,231	+6.1%	488	-13.5%	11.5%	-2.6P
NWサービス	8,961	+8.9%	1,737	+11.1%	19.4%	+0.4P
合 計	16,421	+7.0%	3,062	+3.3%	18.6%	-0.7P

2-11 セグメント別従業員数

(単位:人)

	2018年3月期		2019年3月期		増 減	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	増減比
システムコア	300	16%	307	16%	7	2.3%
IT ソリューション	400	22%	403	20%	3	0.8%
NWサービス	1,071	58%	1,154	59%	83	7.7%
その他	83	4%	91	5%	8	9.6%
合 計	1,854	100%	1,955	100%	101	5.4%

2-12

過去の業績推移(当期利益・純利益率)

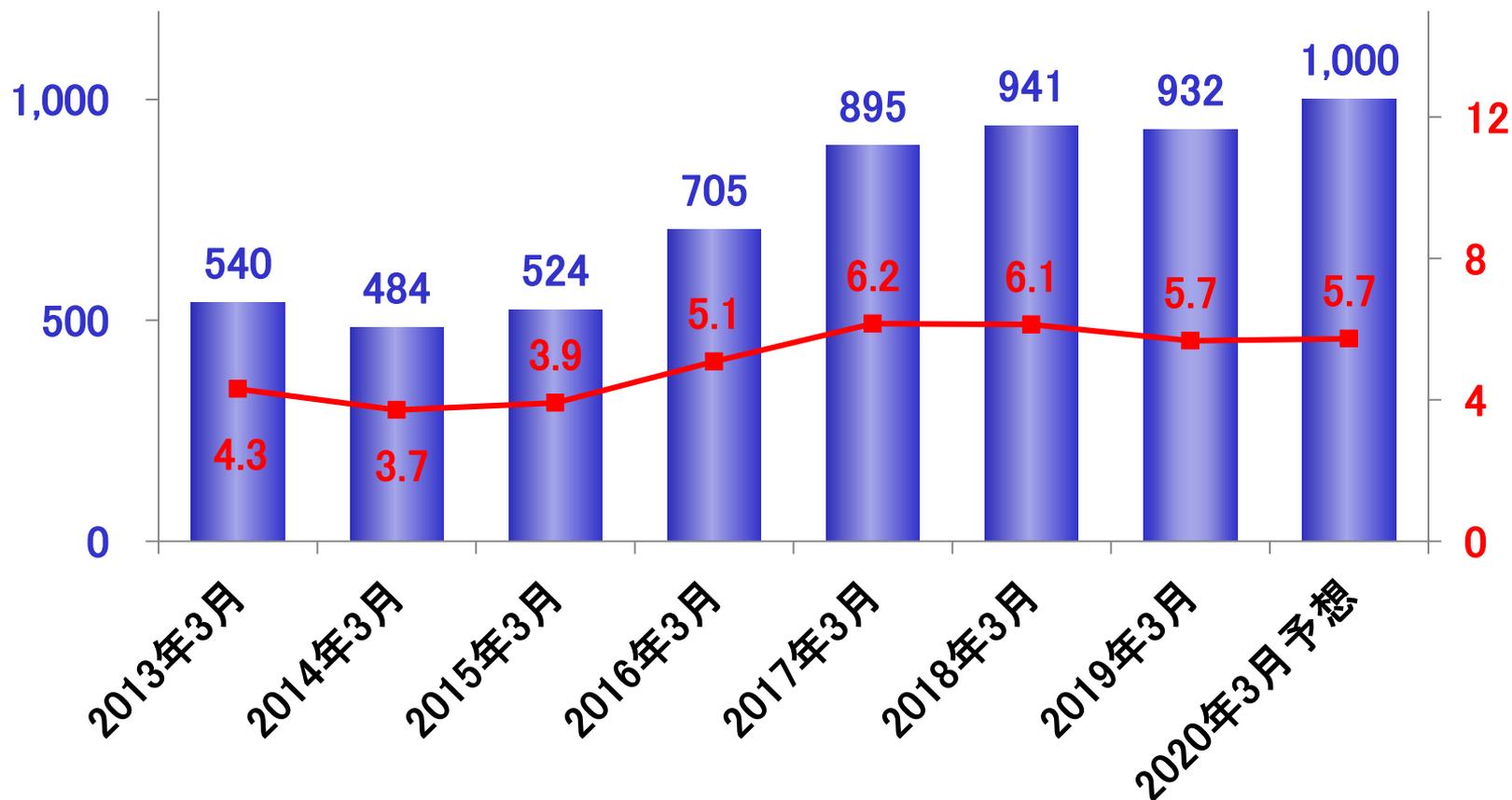
(単位:百万円)

(単位:%)

当期利益

■ 当期利益 ■ 純利益率

純利益率



2-13

過去の株主還元推移(配当金・配当性向)

(単位:円)

(単位:%)

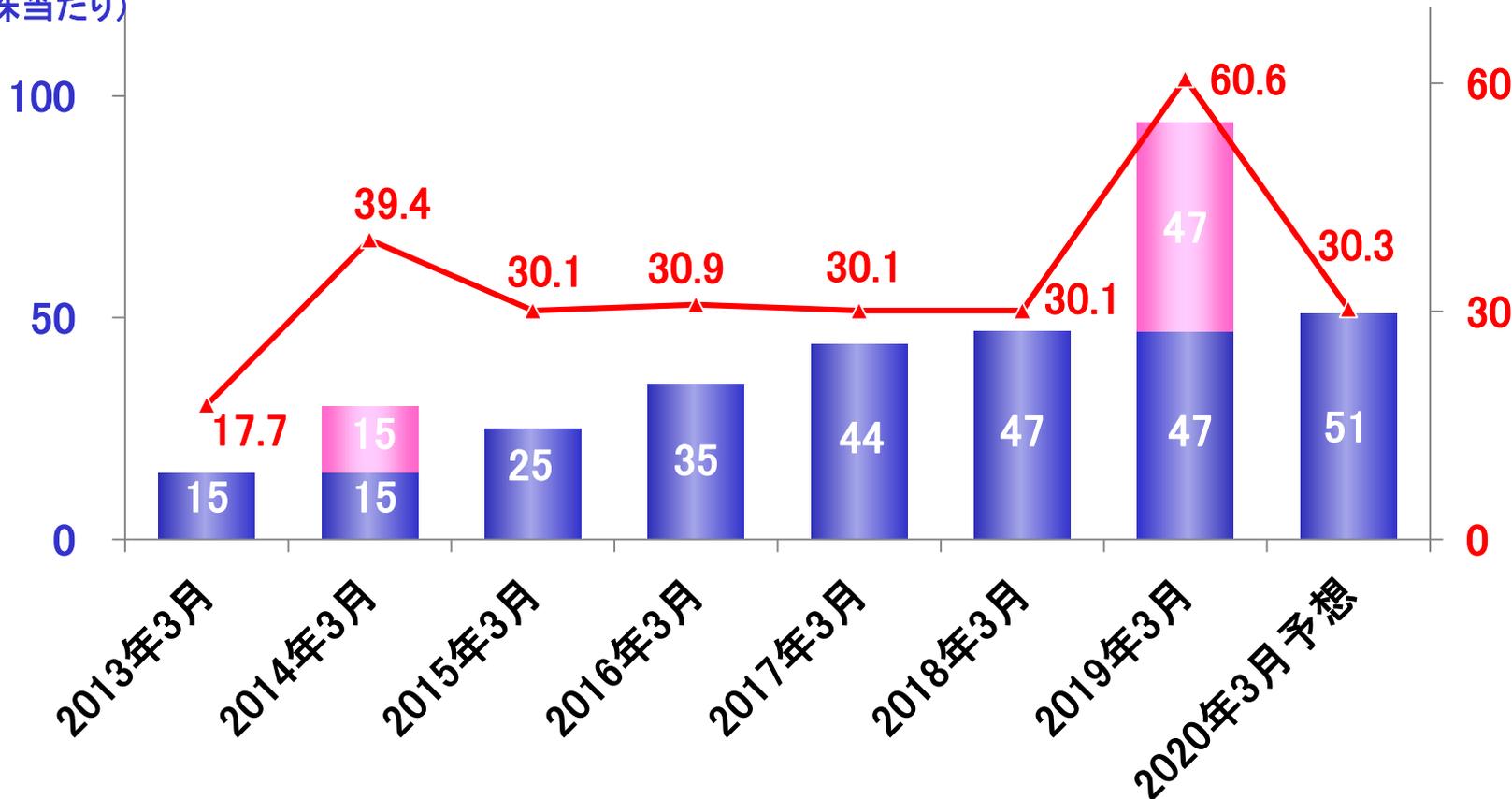
配当額

配当性向

(記念配当を含む)

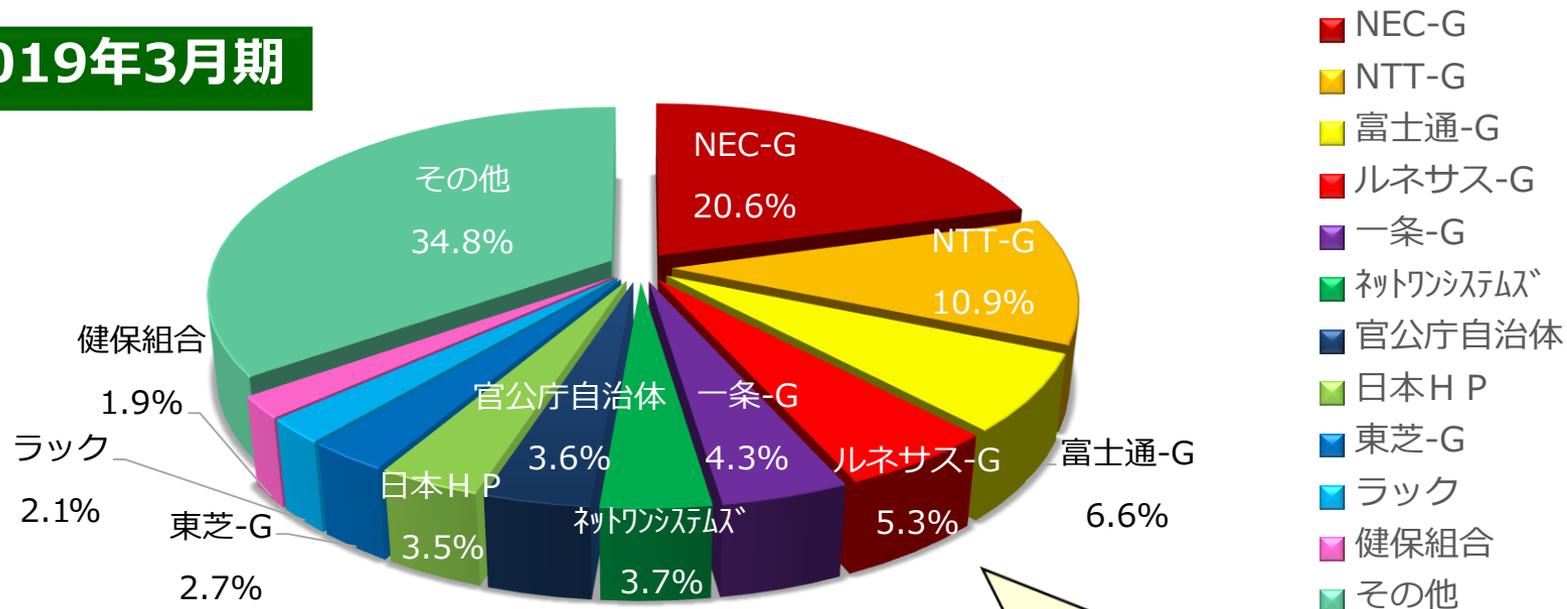
■ 普通配当 ■ 記念配当 ▲ 配当性向

(1株当たり)

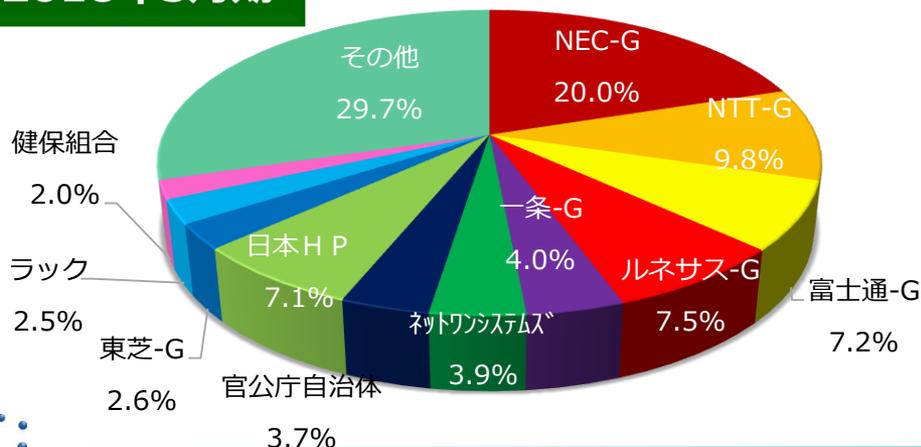


2-14 お客様別売上構成比(連結)

2019年3月期



2018年3月期



お客様別売上構成の変化

【シェア拡大】

- NTTグループ 様
- 一条工務店グループ 様
- その他 … お客様の分散化による

【シェア縮小】

- ルネサスグループ 様

● システムコア事業（増収・増益）

- ・半導体設計や組み込みソフト開発は、引き続き堅調に推移。
- ・今後の半導体市況の先行きについては、不透明感がある。
- ・業務の一極集中によるリスク低減の観点から、業務の多様化・分散化を指向してきた。

● ITソリューション事業（増収・減益）

- ・住宅建設業界向けの、各種ソフトウェア開発は受注が好調。
- ・不採算事業からの撤退やSIビジネスにおいて利益率改善。
- ・前期まで開発中だった自社開発パッケージソフトウェアは、当期から販売を開始した。
- ・自社開発のパッケージソフトウェアの減価償却費負担が発生し、収益に影響。

● ネットワークサービス事業（増収・増益）

- ・新卒者や中途採用者を積極的に採用する人材投資を継続。
- ・技術者不足による受注機会損失を無くし、拡大する需要に対応し成長を続けている。
- ・将来有望な分野や好条件の案件へのローテーションなどにより、収益性も改善。

システムコア事業

AI/IoT時代の多分野の開発に関与
特に車載分野ビジネスが伸長

車載分野ビジネス: 重点分野の位置づけ

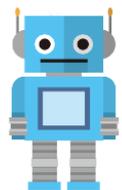
- ・車載用マイコン開発
- ・自動運転支援、
走行系/安全系/情報系
などの組み込み
ソフトウェア開発

通信機器

- ・部品の機構設計
- ・搭載される基板の回路設計



ロボットの組み込みSW



PC向け半導体

- ・メモリデバイス
- ・メモリボード



スマートフォン向け

- ・Flashメモリ開発
- ・各種ファームウェア/アプリケーション
ソフトウェア開発

インテリジェント家電
・汎用マイコン開発

ITソリューション事業

●パッケージソフトウェア開発

- ・住宅建設会社向けの総合管理システム
- ・ウェブサイト変換ソリューション
- ・モバイルコンテンツ変換



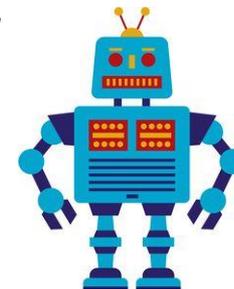
●各種システム開発

- ・製造業生産管理システム
- ・基幹系システム



●AI・RPA

- ・AI提案、コンサルティング
- ・RPA提案、システム化



●各種支援サービス

- ・SE開発支援
- ・モバイル実機検証サービス

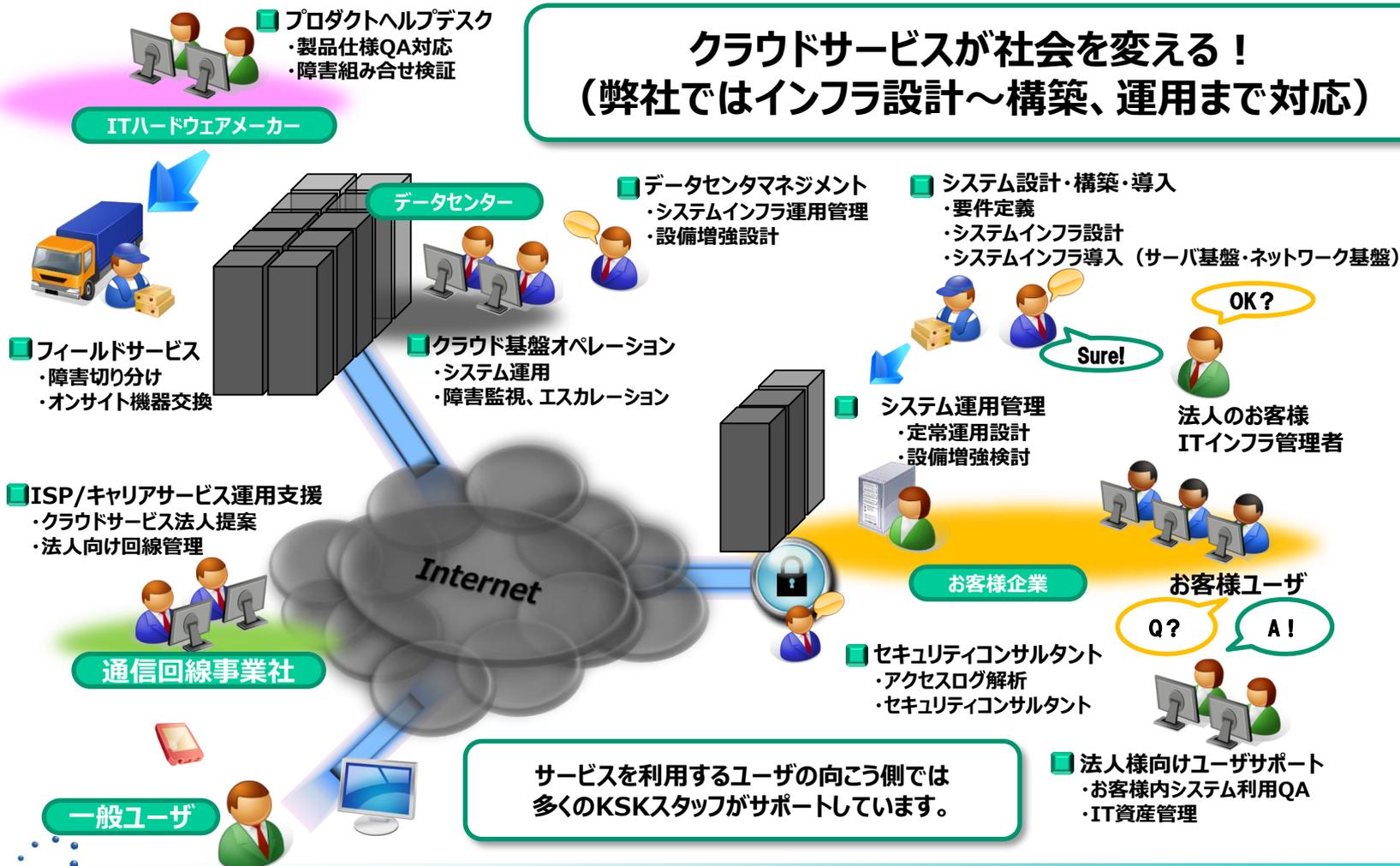


●BPO関連

- ・データエントリー業務
- ・健保組合向け人材派遣

ネットワークサービス事業

クラウドサービスが社会を変える！
(弊社ではインフラ設計～構築、運用まで対応)

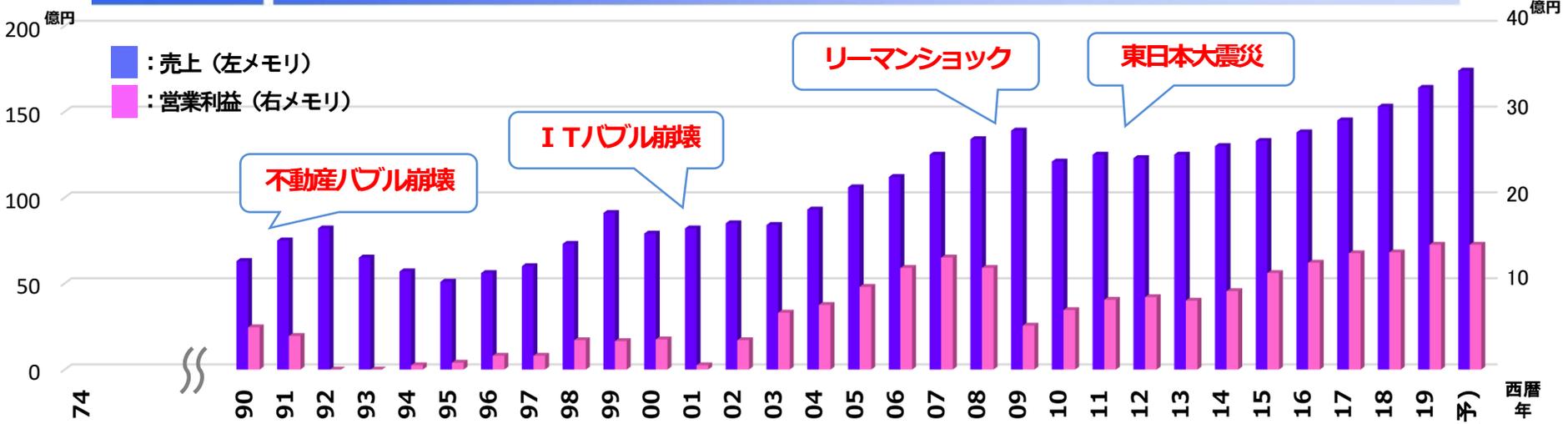


3

中期経営計画「TRUST50」



3-01 KSKグループ45年の変遷



74

創業 (サンユウ商事)

揺籃期

79 84
本社を西新宿に移転
国際システムに商号を変更・IT事業へ転換

90

店頭公開

成長期

94
本社 (東京技術センター) を稲城市に移転

99 00

KSKテクノサポート設立
KSKデータ設立

03

チーム制導入

変革期

03 04 05 05
30周年・商号をKSKに変更・シンボルマーク変更
中計スタート (PLANET 30)
KSK九州設立

08

中計スタート (構想 21)

09

CS向上への取組み開始

11

中計スタート (基軸 V40)

14 15

ブランドメッセージ制定
中計スタート (共創 8)

発展期

17 17
品質向上プロジェクト
ホワイト 500 認定

19

新中計スタート

TRUST 50

西暦年

20(予)

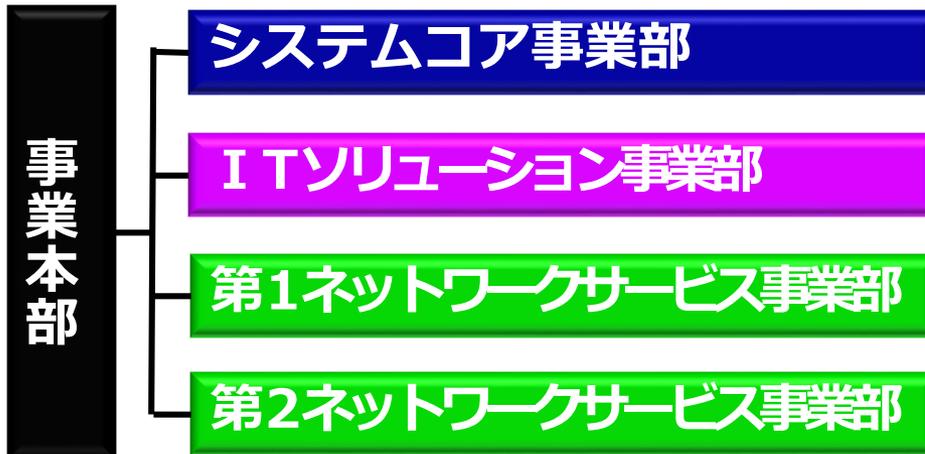
1. 新体制

代表取締役会長 河村 具美

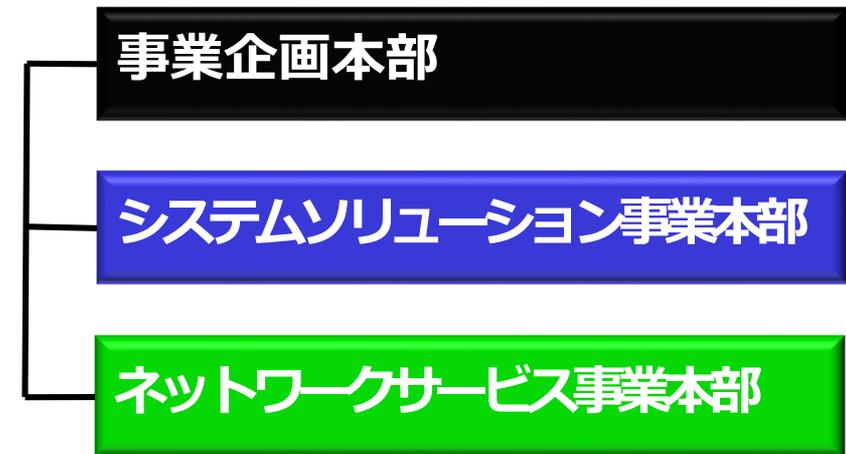
代表取締役社長 牧野 信之

2. 柔軟かつ機動的な組織運営を実現するために、3つの事業本部としました

旧組織



新組織



3. 業務執行の強化と活性化のため、執行役員制度を導入しました

KSKグループは量から質への転換を図るため、「エンゲージメント(企業風土)」「人材育成(仕組み)」「CS向上(戦略)」を経営の基軸と位置付け、エクセレントカンパニーを目指し将来にわたり継続的成長を実現する

競争戦略



チーム制の理念

- ◆現場を強くすることでKSKグループの**競争力**を高めます(会社)
- ◆ビジネスの実践を通して社員一人ひとりが**自己実現**を図ります(従業員)

チームの機能

1. 協働の場

プロジェクトチーム、生産性の追求

・仕事の成果を出す

2. 成長の場

仕事と交流を通じた自己研鑽

・刺激し合い、切磋琢磨する

3. 帰属の場

自分の居場所としてのコミュニティ

・自分の存在を認められる
・自分の理解者がいる
・本音を出せる
・安らぎを感じる

1. 究極の品質

KSK品質を確立し、品質を強みにする企業集団となる

2. 考える現場

あらゆる変化に対応し、更なる発展へ全社員が考える集団となる

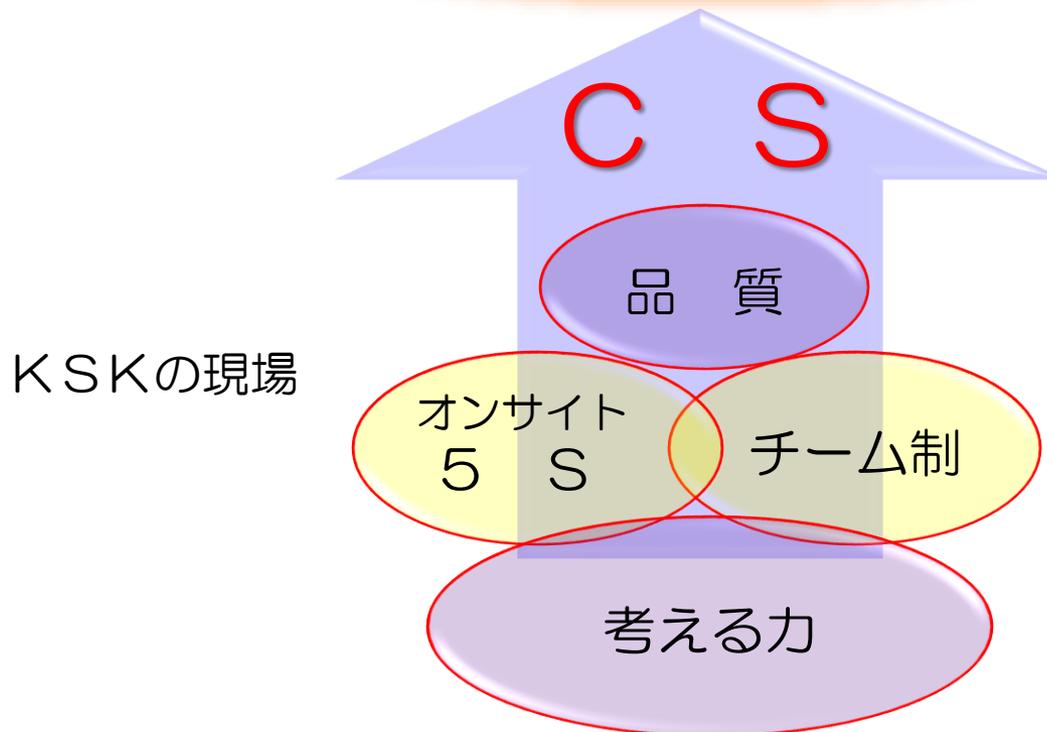
3. プレミアムサービス

現場の強みを最大限に活かし、競合他社を圧倒するプレミアムサービスを提供する

社員一人ひとりが自らの業務遂行力とKSKで働くことに誇りを持ち、最善の顧客サービス提供を通し真のパートナーとして信頼される、そんな会社でありたい。

Red Ocean から Blue Ocean へ
Innovation

KSKグループの
プレミアムサービス



いい会社は

賢くて

Smart

強くて

Tough

優しい

Gentle

企業風土としてエンゲージメントを形成することで、組織と個人の成長が連動し
両者の価値観が統合され、お互いに貢献し合える関係が形成される

風土づくり

組織(会社)と個人(社員)の
エンゲージメント(絆)を形成する

1. 個人のやる気を引き出す

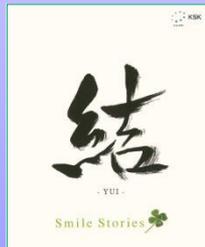
・働きがいのある環境づくり

2. 価値観を共有する

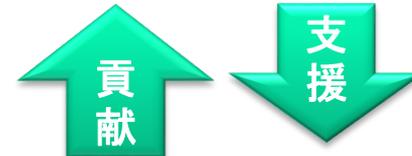
・価値観の形成、浸透、共有
・ビジョンの共有
・人間力の向上

3. 共感を高める

・見える化
・場の設定
・コミュニケーション



組織



個人

Team KSK ECO CLUB



社内ボランティア組織のエコ活動をKSKが物心両面で支援



グループ社員同士が、絆や誇りを持てる企業風土を共有するために、社会貢献と環境保護をテーマにした活動



社会への無償の貢献実感が自らの存在意義の確認を経て誇りへとつながる

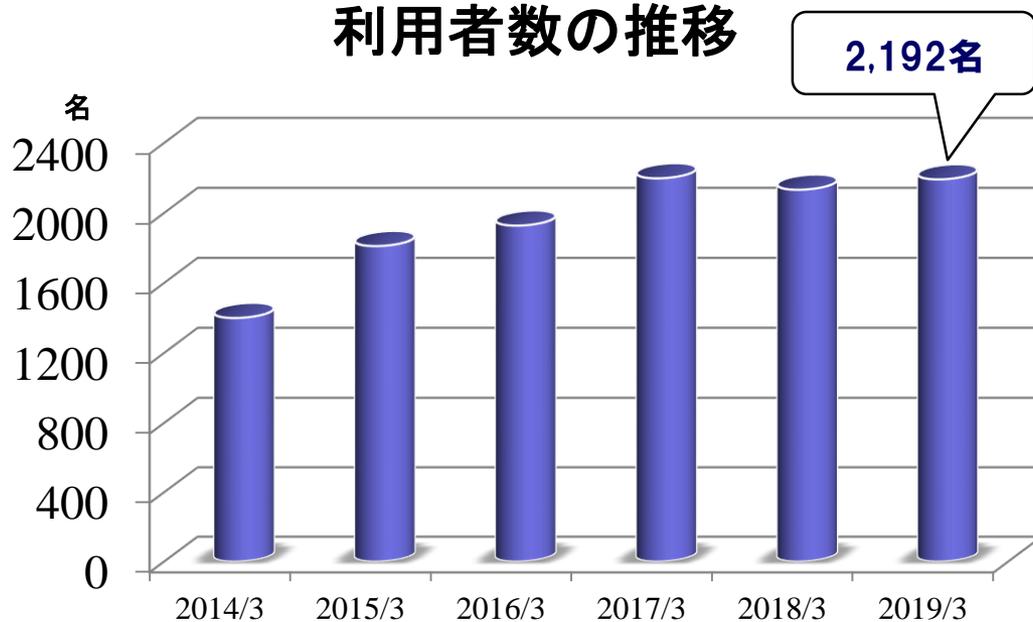


さいたま/さいたま技術センター周辺清掃活動 (2019年3月)

本社をはじめ、各拠点のある地元自治体と協働で清掃活動等のエコ活動に参加し、地域環境の整備と良好な地域コミュニティの形成に貢献

BIC (KSK BBQ Invitation Card) 制度とは、メンバーとバーベキュー (BBQ)を通じて、互いに協力し交流を深めようという制度です。

利用者数の推移



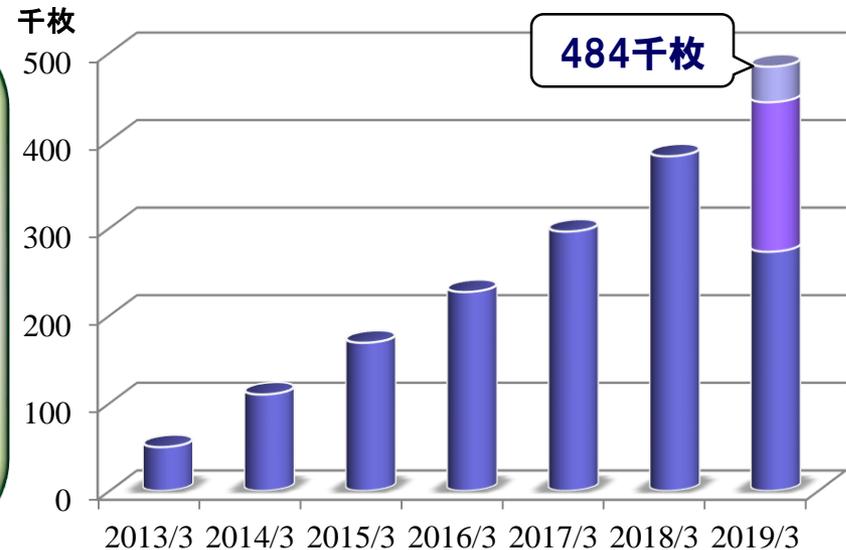
エンゲージメントを高める明るい職場づくりの施策として
“ありがとうの気持ち” を伝える
《スマイルカード》 を全社展開

『ありがとう』
 の言葉の連鎖が
 結束力を強める

讚え合う良い風土

- 😊 お互いを褒め合うことでお互いの良いところを伸ばし合う
- 😊 相手への関心が良きチームワークへとつながる
- 😊 感謝し合うことの積み重ねが相手を思いやる気持ち、助け合う職場をつくる

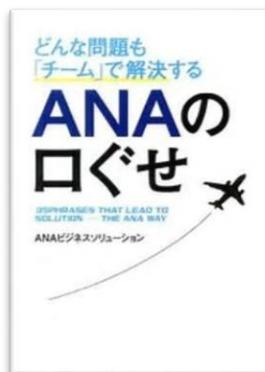
Smile Card発行枚数の推移



3-12 経営の基軸:エンゲージメント 読書会

その人が読んでいる本を知ることは、**その人を知ること**である

- 累計20,000冊以上を配付
- 2018年度の参加人数1,893名



「規範意識の高い**企業風土**」をつくる

5Sをやって
心がきれい
になりました



5S活動は、『徹底した**ムダの排除**であり、
問題点を顕在化して問題解決する**体質づくり**』

～単なる美化運動でも掃除だけでもない～⇒ 5Sの真髄は「**見える化**」

外部コンサルタントの診断を年2回受診



80点「5S GOLDクラブ」
・KSK拠点:全て(25チーム)
・お客様フロア:5チーム



87点「5S PLATINUMクラブ」
・KSK拠点:8チーム



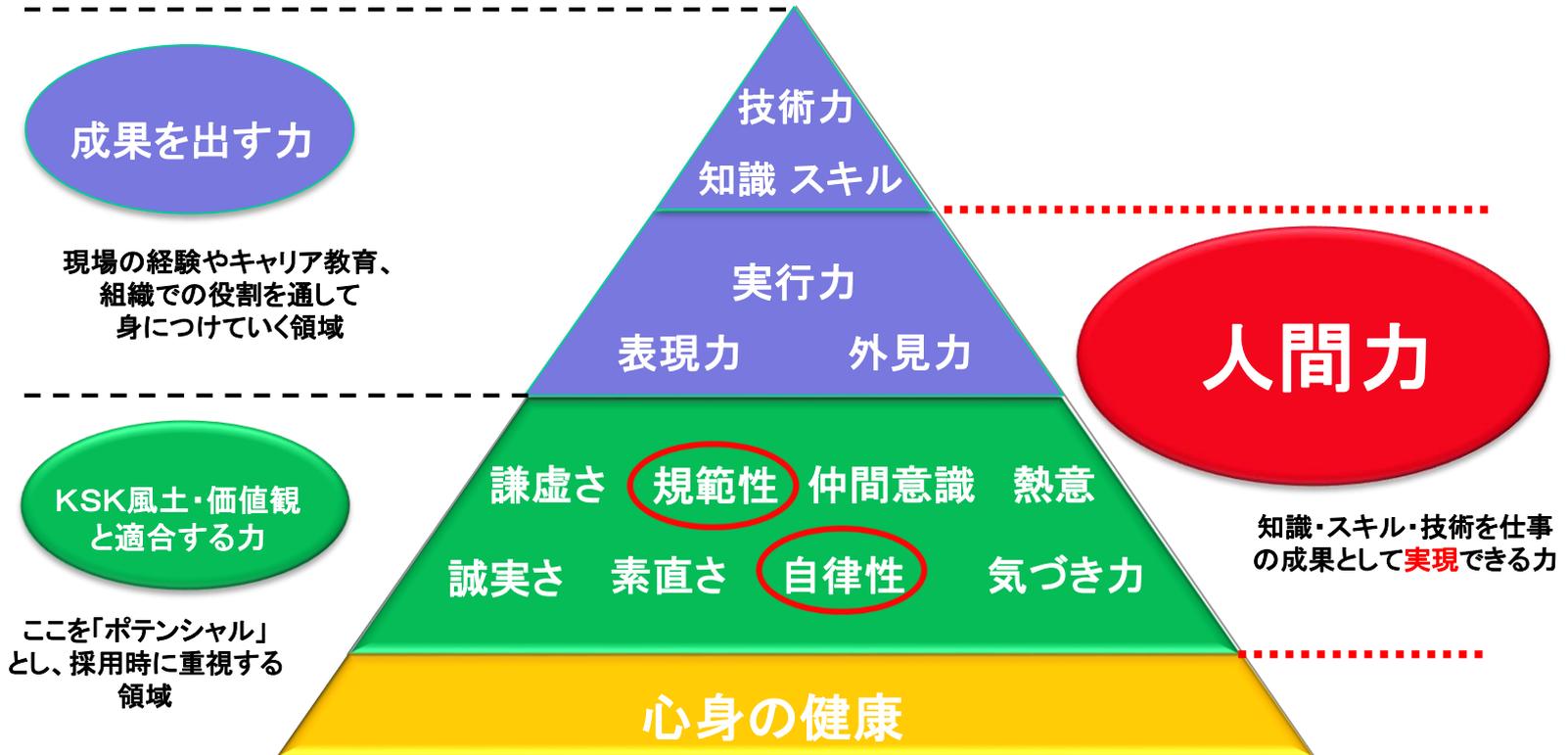
90点「5S DIAMONDクラブ」
・認定に向け、現在挑戦中

お客様先で12チームが5S活動を展開中
(**オンサイト5S活動**)

■人間力教育

継続した人材育成により一人ひとりが人格（人間性）を高め人間力の高い集団を形成する

基本的考え方：サービスの質は人間の質そのものである



【自律できる技術者の育成】

人間力研修	技術研修
新入社員向け	システム・ネットワーク分野
若手社員向け	ソフトウェア分野
中堅社員向け	組込みソフトウェア分野
管理者向け	ハードウェア分野

年間カリキュラム(120種)

【教育機関の設置】

専任講師：9名
 研修設備：464席
 11教室、研修寮あり



3-16 経営の基軸:人材育成 資格取得者数

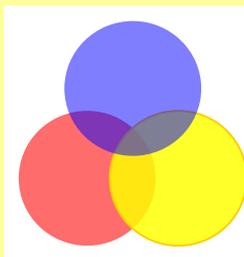
【主な資格の資格取得者数】

(2019/3/31時点)

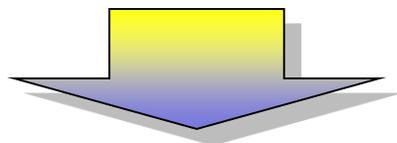
資格	取得人数
PMP	141名
LPICレベル3	138名
CCNP	114名
ORACLE MASTER Gold	47名
応用情報技術者	62名
VMware認定プロフェッショナル	12名
CCNA	949名
ITILファンデーション	721名
G検(AI)	53名

平均資格保有数 3.5個／人

以下の要素を三位一体で提供する



- **技術** (QCD)
- **信頼** (安全・安心・誠実)
- **快適** (ホスピタリティ)



CS向上の基本方針



- **期待** 以上
- **役割** 以上
- **報酬** 以上

お客様に
感謝と
感動を！

VOC 【Voice Of Customer】

目的

お客様の評価(声)に対する改善活動を行い、お客様の不満点を解決し、業績向上につなげる。

方法

- 重点顧客、戦略顧客を現場が選定する
- 定点調査(毎年同時期、原則同じ質問)

項目

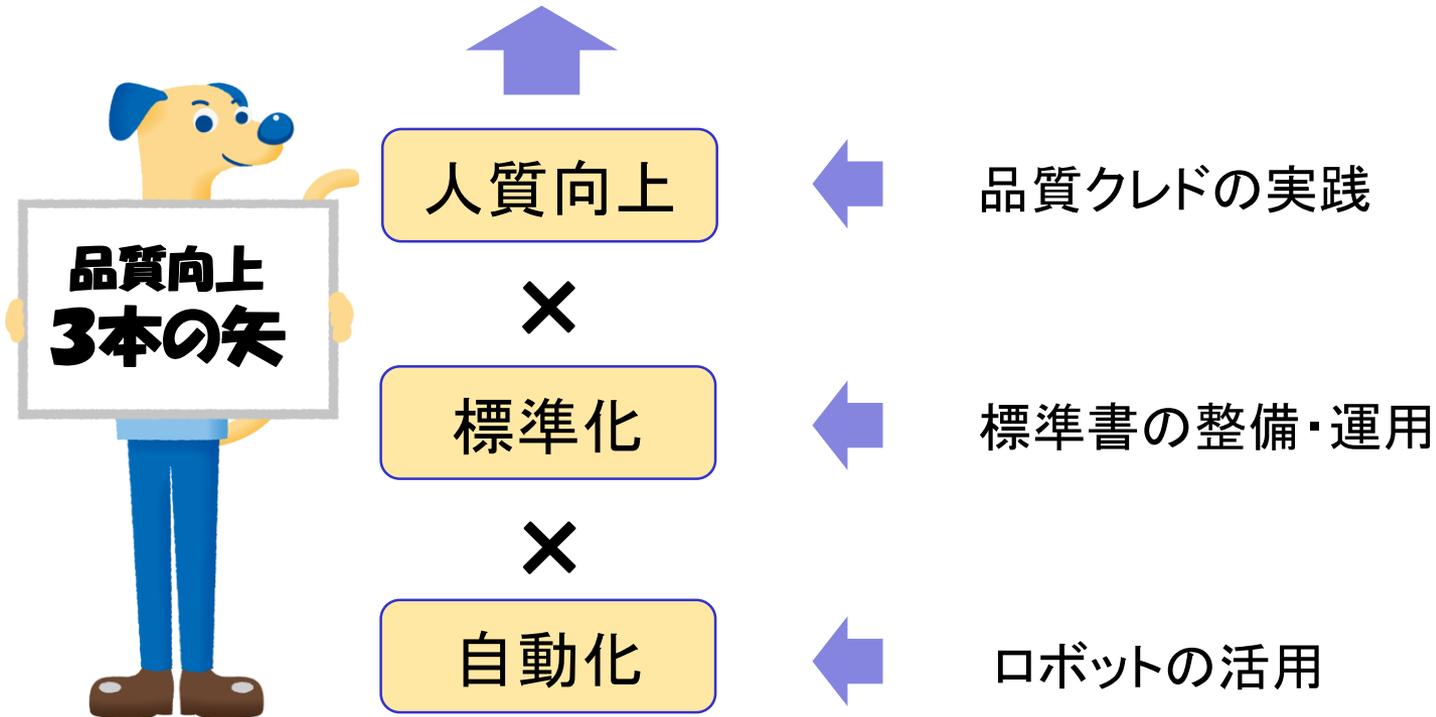
- 管理者・営業対応 ■技術力 ■トラブル対応等
- 技術者の人間力 ■セキュリティ 合計24項目



調査件数

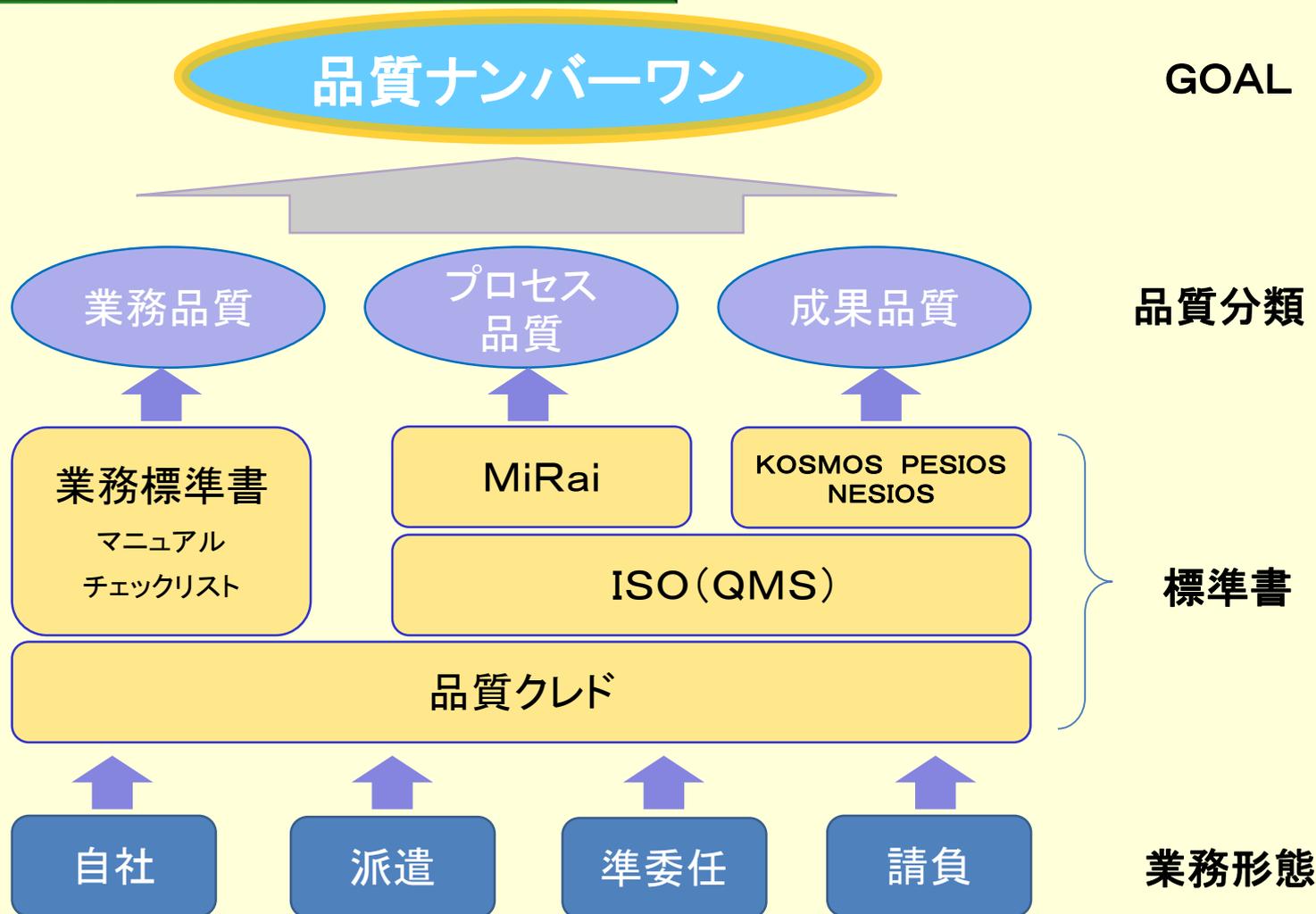
- 2018年度 発送 362件
- 回収 355件 (回収率98.1%)

KSK品質の確立



3-20 経営の基軸:CS向上 品質向上プロジェクト

「かがやきプロジェクト」の全体図



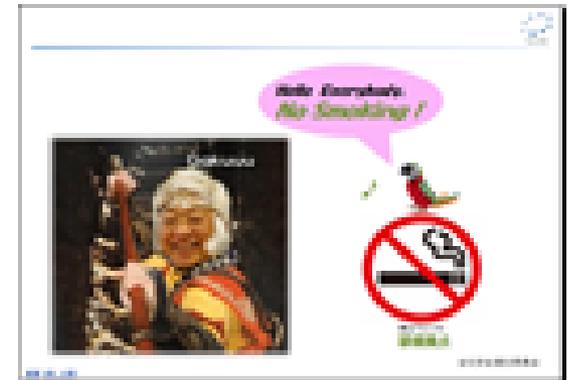
「健全でECOな**禁煙風土**」をつくる

【活動の目的】

1. 自分の健康や環境に対して高い意識を持つ「**いい人の集団**」になる
2. いい人の集団として「**品格ある企業**」を目指す
3. 結果として、KSKグループの「**長期的、継続的成長**」を実現する

【主な活動内容】

1. オリジナル「**禁煙ポスター**」の展開(常時内容更新)
2. 「**禁煙メルマガ**」の定期発信(2回/月)
3. 「**禁煙アンケート**」の定期実施(1回/月)
4. 「**禁煙Credo**」の制定
5. 「**禁煙外来治療費**」の補助
6. 「**らくらく禁煙コンテスト**」への参加費補助
7. 喫煙者を「**採用対象から除外**」
8. 「**リバウンド相談窓口**」の設置



喫煙者：483名(2013年4月) ⇒ 0名(2015年11月)

目標達成
(継続中)

健康経営宣言

KSKグループの長期的、継続的な成長を実現するためには、その主体であるKSKグループの従業員一人ひとりの健康が不可欠であると考え「健康経営」宣言を掲げ「心・技・体」三位一体の人づくりに取り組んでいます。

健康経営宣言

～健康な従業員、元気な会社～

KSKグループは従業員の健康増進を経営の重要な課題として捉え、
従業員の健康の維持・増進と企業生産性の向上を目指します。

三位一体の人づくり

心(人間力)
技(知識・技術・スキル)
体(心身の健康)

2014年10月15日宣言

健康経営の主な取組み

1

エンゲージメント重視の経営

上司や仲間と支え合う心の「絆」の形成

4

定期健康診断の受診

定期健康診断受診率100%を継続

2

全社禁煙宣言

2015年11月に「喫煙者ゼロ」を達成

5

エンジェル アシスト

健診結果の有所見者100%フォロー活動

3

わくわく健康プラン社員一人ひとりの健康促進プログラムの展開
(参加率75% ※2019年3月現在)

6

長時間勤務撲滅

長時間勤務モニタリング制度による事前チェック

3-24 健康経営：「健康経営銘柄」選定

健康経営

「健康経営銘柄」に選定

2019年2月、経済産業省と東京証券取引所が共同で、上場会社の中から「健康経営」に優れた企業を選出する「健康経営銘柄」に選定されました。



2. 「健康経営銘柄2019」選定企業（28業種37銘柄、業種順）

業種	銘柄コード	企業名
情報・通信業	4689	ヤフー株式会社
	9687	株式会社KSK
	9719	SCSK株式会社

出典：経済産業省ウェブサイトより

あわせて、経済産業省と日本健康会議が共同で選出する「健康経営優良法人（ホワイト500）」に3年連続で認定されました。

健康経営に係る顕彰制度の全体像①

- 健康経営に係る**各種顕彰制度**を推進することで、**優良な健康経営に取り組む法人を「見える化」**し、従業員や求職者、関係企業や金融機関などから**「従業員の健康管理を経営的な視点で考え、戦略的に取り組んでいる企業」**として社会的に評価を受けることができる環境を整備する。

＜健康経営に係る顕彰制度の対象法人＞

	【健康経営銘柄】  健康経営銘柄 Health and Productivity	健康経営優良法人 【大規模法人部門】  健康経営優良法人 Health and productivity ホワイト500	健康経営優良法人 【中小規模法人部門】  健康経営優良法人 Health and productivity
製造業その他	東京証券取引所 上場会社 (37銘柄)	301人以上	300人以下
卸売業		101人以上	100人以下
小売業		51人以上	50人以下
医療法人・ サービス業		101人以上	100人以下

出典：経済産業省ウェブサイト

(http://www.meti.go.jp/policy/mono_info_service/healthcare/kenkoukeiei_yuryouhouzin.html)



「健康戦略の発想と着眼点」 大和総研経営コンサルティング本部(編)



■「社員の健康」「多様性の受容」「人件費＝投資」という3つの視点から企業が取り組むべき課題を考察

■ K S Kの**禁煙推進運動**をはじめ各種取り組みが**約20ページ**に亘り取り上げられる

4 業績予想

4-01

2020年3月期予想(連結)

(単位:百万円)

	2019年3月期	2020年3月期 (予想)	対前期比
売上高	16,421	17,450	106.3%
営業利益	1,368	1,450	106.0%
経常利益	1,402	1,490	106.2%
当期純利益	932	1,000	107.3%
配当金	94円 普通配当:47円 記念配当:47円	51円	▲43円

(単位：円)

	2018年3月期	2019年3月期 (予定)	2020年3月期 (予想)
配 当 金	47	94 (うち記念配当:47)	51
配 当 性 向	30.1%	60.6%	30.3%

配当決定に当っては連結業績を基準に、配当性向30%を目処に配当を実施することを基本方針としております。

